

食育と地産地消

学校給食の今

子どもたちの毎日の学校生活に欠かせない給食。

市では、市内すべての小・中学校と浅羽地域の公立幼稚園で学校給食を行い、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を子どもたちに伝えています。

学校給食での取り組みを紹介します。

☎ 学校教育課学務係 ☎ 23-9202 袋井学校給食センター ☎ 49-0105

浅羽学校給食センター ☎ 23-3049

(出展:静岡県学校給食会)

平成元年

- ・食パン
- ・ハンバーグのケチャップソースかけ
- ・野菜とコーンのソテー
- ・フルーツポンチ
- ・牛乳

昭和51年

◇米飯開始

- ・ご飯 ・福神づけ
- ・カレーシチュー
- ・ゆで卵
- ・果物 (みかん)
- ・牛乳

昭和44年

◇ソフトめん開始

- ・ソフトめん
- ・ミートソース
- ・果物 (バナナ)
- ・牛乳

昭和26年

◇県内で完全給食開始

- ・コッペパン
- ・マーガリン
- ・鯨肉竜田揚げ
- ・せんきゃべツ
- ・脱脂粉乳

献立で見る給食の変遷

●袋井市の学校給食のあゆみ

年	あゆみ
昭和29年	・笠原小学校と幸浦小学校で給食を開始
昭和31～37年	・市内各小学校で給食を開始
昭和43年	・袋井・周南中学校でミルク給食を開始
昭和46年	・浅羽学校給食センターを開設(全公立幼稚園、小学校・浅羽中学校で完全給食を開始)
昭和50年	・袋井南中学校でミルク給食を開始
昭和54年	・高南小学校で完全給食を開始 ・浅羽地域でご飯持参の給食を開始(週2回)
昭和55年	・浅羽地域で委託炊飯を開始(週3回)
平成 2年	・浅羽学校給食センター移転
	
平成 4年	・袋井学校給食センターを開設
	
平成 13年	・中学校で完全給食を開始
	・袋井学校給食センターを増設、6小学校に配膳室を整備(調理場を廃止し、給食センターに統合) ・今井・三川・笠原幼稚園の給食を廃止
平成17年	・新袋井市誕生
平成18年	・浅羽学校給食センターにて炊飯を開始
平成20年	・「今後の袋井市学校給食のあり方について(方針)」を決定

給食の始まり

◎お寺の境内で配られた食事

日本の学校給食の起源は、明治22年に山形県鶴岡町の忠愛小学校で出された昼食といわれています。

この忠愛小学校は、当時のお坊さんがお寺の境内に建てた私立校で、弁当を持参できない子どもたちのために学校で調理した食事を無料で提供したのです。当時の献立は、おにぎりと焼き魚(鮭)、そして漬け物の3品でした。

◎学校給食法の成立、そして現在へ

今のように完全給食の実施が法的にも整ったのは、昭和29年のことです。「学校給食法」が制定され、給食は学校教育の一環として実施される

こととなりました。

その後、法律の改正により中学校でも給食が始められたほか、学習指導要領の改訂を経て、学校給食は小・中学校の特別活動の学級活動として位置づけられるようになりました。

現在、学校給食は、食に対する教育である「食育」としての観点も加わり、児童・生徒の心身の健全な発達のもとより、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける上で大事な役割を担っています。

◎袋井市での学校給食の歴史

袋井市での学校給食の開始も、昭和29年にさかのぼります。当時の笠原小学校と幸浦小学校ではじめて給

食が行われ、以降、各小学校でも順次給食を開始。昭和43年には、中学校でのミルク給食も始められました。また、旧浅羽町では、昭和46年に浅羽学校給食センターを開設し、全公立幼稚園、小・中学校で完全給食を実施。旧袋井市でも平成4年に袋井学校給食センターが開設され、中学校の完全給食が始まり、平成13年には6小学校での給食も実施されました。

現在、自校の単独調理場で給食の調理を行っている袋井南・笠原・高南小学校を除く市内すべての小・中学校と浅羽地域の公立幼稚園で、給食センターからの学校給食が提供されています。

※完全給食とは、主食(ご飯、パン、めん類)と副食(おかず)と牛乳が献立に入っている給食のことです。